

教宣 せぶん

本物と、本物に見せようとするもの

昨日の昼食後、継続手続きに2軒のお客さん宅を訪問しました。契約確認の手続きがあるため、茶の間に通してもらおうと、どちらの家もテレビがつけられていました。一軒の家ではアメリカ大リーグのオールスターゲームの様子が、一軒の家では7月29日に行われる参院選にむけた党首討論の様子が、テレビから映し出されていました。

大リーグのオールスターゲームではイチローが大活躍。見事、MVPを獲得しました。直後のヒーローインタビューで、日本語が聞こえてくる違和感に「あらためてイチローはとんでもないすごいことをした」と思いました。イチローと言えば、この日のMVPの獲得以外にも数多く「すごいこと」を成し遂げていますが、個人的に忘れられないのは、昨年のWBCでのアメリカ戦です。結果的にこの試合は、球審「ボブ」の疑惑の判定もあって日本は負けてしまうのですが、イチローはこの試合で開始直後に先頭打者ホームランを放ちました。格上と見られていた大リーグのスーパースター選手を擁するアメリカチームとたたかうリーグ戦・初戦の先頭打者ホームランは、どれだけ日本チームに「自信」と「勇気」を与えたことでしょうか。大リーグで実績を残しているイチローが、日本の「野球」が世界で通用するというのを、日本チームの他選手に、一球で実践してみせたのです。この、おそらく狙って打ったであろうイチローの先頭打者ホームランに、鳥肌が立つほどの「凄み」を感じました。その後、イチローを中心としたチームの団結力で、日本は第1回WBCで奇跡の大逆転優勝を飾ったことは記憶に新しいところです。

その数多くの「実績」を積み重ねてきたイチローが、アメリカの国技であるベースボールの大舞台で、MVPを獲得したのです。つくづく本物イチローの「ものすごさ」に感動、敬服しました。

続いて訪問したお宅のテレビからは党首討論の様子が流れていました。ちょうど記者の質問に党首が1分間で答えるという場面でした。再三、司会者が「1分間で簡潔に教えてください」というこの場のルールを説明しているにもかかわらず、「1分間ルール」を気にもせず、長々と自らの「実績」を強調する総理の姿がありました。内容はともかく、任命した農水大臣の事務所管理費への追及の質問に「ルールに則って」と総理は盛んに申し開きしていましたが、「ルールに則って」と言うなら、「この場の1分間ルールをもっと尊重せよ」「1分間で発言をまとめることも総裁・党首の能力だ」と言いたくなりました。

契約手続きの傍ら、お客さんとそんな話を交えながら、この日の午後は過ぎていきましたが、前半のテレビ中継から感じた「本物感」を、後半のテレビ中継からはまったく感じませんでした。やはり「モノ」が違うということなののでしょうか。